

京セラ CSR報告書 2011

目次

経営理念	2
トップメッセージ	3
京セラグループ 経営の原点	5
京セラグループのCSR	9
コーポレート・ガバナンス	11
リスクマネジメントとコンプライアンス	13
特集1: ファインセラミック技術で人類の進歩・発展に貢献	15
特集2: 世界で貢献する京セラの太陽光発電システム	19
特集3: 3つの共生を基本に据えた京セラグループの「環境経営」	23
トピックス2010	25
[経済性報告]	
京セラグループの事業展開	27
事業概要	29
[社会性報告]	
お客様とともに	33
従業員とともに	36
株主・投資家の皆様とともに	44
お取引先様とともに	45
社会とともに	46
[環境報告]	
グリーンマネジメント	—環境経営推進の基盤— 51
グリーンプロダクツ	—製品における環境配慮— 63
グリーンファクトリー	—工場・事業所における環境配慮— 69
グリーンコミュニケーション	—ステークホルダーとの環境コミュニケーション— 79
第7次環境安全推進計画	83
環境活動のあゆみ	85
[データ編]	
ISO9001、OHSAS18001認証取得状況	87
ISO14001認証取得状況	88
沿革	89
第三者保証	90

編集方針

京セラグループの経済性、社会性、環境に関する活動をステークホルダーの皆様へ報告し、コミュニケーションをはかっていくことを目的として本報告書を発行しています。

本報告書が京セラグループをご理解いただくための一助となり、今後の皆様とのコミュニケーションの促進につながることを願っています。なお、この報告書の内容に加え、補完データや最新情報などは、弊社ホームページ (<http://www.kyocera.co.jp>)に掲載しています。

京セラグループの取り組みに対する皆様のお声を今後の活動に活かしていきたいと考えますので、ご意見・ご感想をいただきますようお願いいたします。

対象期間	2010年4月1日～2011年3月31日 ただし、一部の報告・データについては、過去および将来について記載しています。
対象範囲	京セラ株式会社および連結子会社197社 本報告書で京セラと記述している場合は、京セラ(株)単体を示しています。なお、対象範囲が異なる場合は当該箇所に明示しています。また、パフォーマンス情報の収集・報告の方針および基準については、下記の通りです。
発行時期	2011年7月(次回:2012年6月予定、前回:2010年7月)
参考ガイドライン	○環境省「環境報告ガイドライン(2007年版)」 ○GRI*「サステナビリティレポートガイドライン第3.1版」 *Global Reporting Initiativeの略。全世界で適用される持続可能性報告書の枠組みの作成を目的として1997年に発足された国際的な組織。

パフォーマンス情報の収集・報告の方針および基準

- 経済パフォーマンス 「定時株主総会招集ご通知添付書類」等にもとづき記載しています。
- 社会パフォーマンス 「消費生活用製品安全法」「障害者の雇用の促進等に関する法律」「労働安全衛生法」「下請法」等にもとづき記載しています。
- 環境パフォーマンス 環境関連法規に準拠し、「京セラグループ環境管理基準」「廃棄物処理規定」「PRTR管理基準」等の社内規定にもとづき記載しています。

会社概要 (2011年3月31日現在)

社名	京セラ株式会社 (KYOCERA Corporation)
本社所在地	〒612-8501 京都市伏見区竹田鳥羽殿町6番地 TEL:075-604-3500(代表)
設立	1959年4月1日
代表者名	代表取締役社長 久芳 徹夫
資本金	1,157億円

売上高(連結)	1兆2,669億円
当期純利益(連結)	1,224億円
グループ会社数	208社(京セラ(株)含む)
グループ従業員数	66,608名(持分法適用子会社、持分法適用関連会社は除く)

※資本金・売上高・当期純利益の記載金額は、億円未満を四捨五入しています。